

NEWS RELEASE （配信：2025年6月4日）告知依頼

鹿児島大学公開講座開催のお知らせ

【最先端バイオ・医療（遺伝子治療、再生医学）の研究開発・実用化】

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

鹿児島大学医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野では、下記のとおり公開講座を開催いたします。

については参加者を募集しますので、広く一般市民の皆様にご告知くださるようお願いいたします。

記

【タイトル】最先端バイオ・医療（遺伝子治療、再生医学）の研究開発・実用化
～最先端医療による社会変革と研究者の将来性・キャリア形成も含めて～

【日時】2025年6月14日(土) 13:00～15:00 （受付 12:30より）

【場所】鹿児島大学郡元キャンパス学習交流プラザ2F 学習交流ホール

【URL】 <https://www3.kufm.kagoshima-u.ac.jp/anatomy2/hot-news/484-new26.html>

【概要】申込み方法等につきましては別紙をご参照ください

【お問い合わせ】

鹿児島大学遺伝子治療・再生医学分野

担当者：松田

TEL: 099-275-5219

MAIL: gt-rm@kufm.kagoshima-u.ac.jp

2025年度 鹿児島大学公開講座開催のご案内

最先端バイオ・医療(遺伝子治療、再生医学) の研究開発・実用化

—最先端医療による社会変革と研究者の将来性・キャリア形成も含めて—

日時

2025 6.14(土) 13:00-15:00(受付12:30より)

場所

鹿児島大学郡元キャンパス
学習交流プラザ2F 学習交流ホール
(〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号)

アクセス<公共交通機関をご利用ください>※駐車場はありません。

- 市電1系統：「騎射場」電停下車徒歩約10分
- 市電2系統：「唐湊(とそ)」,「工学部前」電停下車
- バス：「鹿大正門前」または「法文学部前」下車徒歩5分



対象者

学生・一般(どなたでも参加可能です)定員100名 参加無料

次世代医療の遺伝子治療と再生医学について、研究開発から実用化、研究者のキャリアについて、わかりやすくお話しします。

私たちは、がん細胞だけを殺傷するウイルスを独自に開発し、本学で臨床開発を進め、さらに本学発ベンチャーを創業して革新的ながん治療薬としての実用化を進めています。その他の難病へも、画期的な遺伝子治療や再生医療の研究開発を進めています。また私は、内閣府の健康・医療戦略推進専門調査会委員として、本邦の医療開発計画にも携わっています。本公開講座では、このような最先端医学の現状と展望、また研究者の将来性やキャリア形成についても解説します。

最先端医学を学び、学生さんは進路のヒントにしませんか!

◆お問い合わせ先(気軽にご連絡ください)

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野
Tel.099-275-5219 / Fax.099-265-9721
e-mail: gt-rm@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp(代表)
<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~anatomy2/>

◆講演者

小 賤 健一郎

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
遺伝子治療・再生医学分野 教授

サーブ・バイオファーマ株式会社
会長・最高科学責任者

内閣府 健康・医療戦略推進専門調査会 委員
(医療研究開発推進計画の最上位の専門組織)



事前登録方法 オンライン参加も可能!

参加申込みフォームに必要事項を記載の上、右記QRコードからお申込みください。Zoom情報は申し込まれた方に後日メールで通知します。座席に空きがあれば、当日参加は可能ですが、事前登録をされた方から優先致します。

申込み締切 ●2025年6月10日(火)



<https://x.gd/Zfc82>

●主催

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科
遺伝子治療・再生医学分野

◎日本医療研究開発機構(AMED)再生医療等実用化研究事業(研究代表者：小賤健一郎)

「難治性の転移性悪性骨腫瘍へのファースト・イン・クラス再生医療等製品のための増殖制御型アデノウイルスの第Ⅱ相医師主導治験」

◎日本医療研究開発機構(AMED)橋渡し研究プログラム シーズF(拠点名：京都大学、研究代表者：小賤健一郎)

「浸潤・転移の難治性癌を制圧する革新的な免疫遺伝子搭載・腫瘍溶解性ウイルスの実用化への非臨床・臨床開発」